

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

## 事業名 新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関協力金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内2536)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 250,400 千円 (現計予算額： 447,000 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	447,000	447,000	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	250,400	0	0	0	0	0	0	0	250,400
決定額	250,400	250,400	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症患者受入病院における医業収入は、受入を行っていない病院よりも減収傾向がみられる。

医療機関の資金繰りが行き詰まれば、新型コロナウイルス感染症患者への対応はもとより他の患者を受け入れることができなくなるため、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている県内の医療機関の経営改善を図る必要がある。

### (2) 事業内容

新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れている医療機関に、経費負担の軽減を目的に、患者数に応じた協力金を交付する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

補助率 国10/10(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	250,400	新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている医療機関に対して協力を交付する。
合計	250,400	

#### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）  
第3部-第2章-第12節2-1 感染症対策

#### (2) 後年度の財政負担

今後の流行に備え、引き続き実施していく必要がある。

#### (3) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症患者受入病院における医業収入は、受入を行っていない病院よりも減収傾向がみられる。医療機関の資金繰りが行き詰まれば、新型コロナウイルス感染症患者への対応はもとより他の患者を受け入れることができなくなるため、補助を行うことは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
新型コロナウイルス感染症の収束まで、患者受入医療機関の経営安定化を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の流行を予測することは困難であり、その都度対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	新型コロナウイルス感染症患者の受入にかかる経費負担の軽減が図られる。
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

## (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関における医業収入は、受入を行っていない医療機関よりも減収傾向がみられるため支援が必要。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関は、受入を行っていない医療機関より減収傾向にあるため、交付金の交付は効率的。

## (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症患者受入病院における医業収入は、受入を行っていない病院よりも減収傾向がみられることから引き続き支援が必要。</li> </ul>
---

## (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れた医療機関に対して、受入患者数に応じた協力金を交付する。</li> </ul>
---

## (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】